報道関係者各位

2026 年 11 月 12 日
サイボウズ株式会社

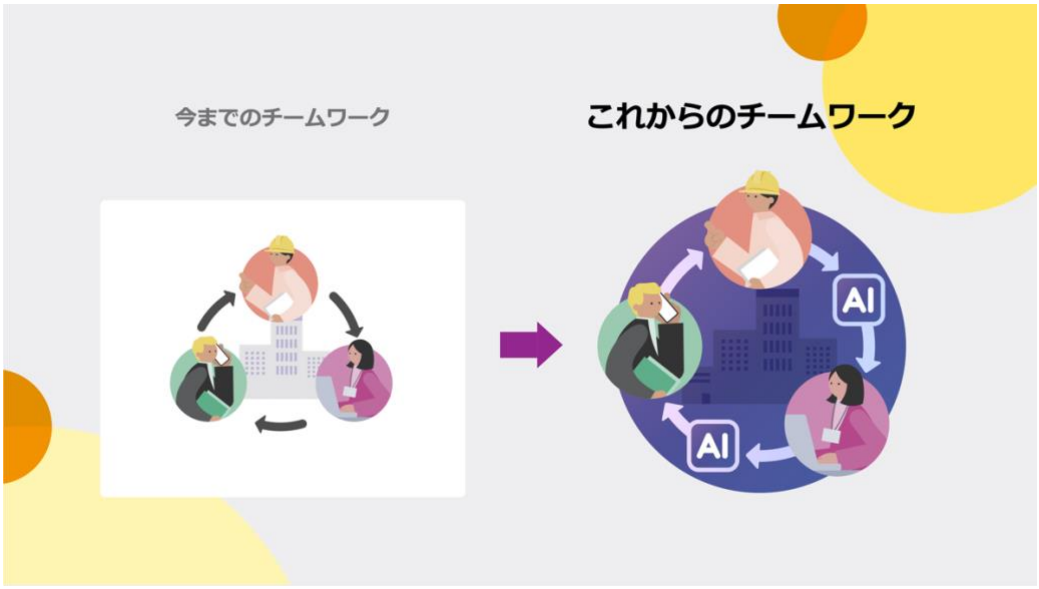
サイボウズ、kintone 新機能「プロセス AI エージェント」提供開始
および新製品「Orito」の構想を発表

人と AI が共に働く次世代のチームワークを見据え、AI 時代の基本戦略を策定

サイボウズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：青野慶久、以下サイボウズ）は、AI が前提となるこれからの産業構造を見据えた、AI 時代の基本戦略を策定いたしました。
本戦略に基づき AI 時代に適合した投資を進めており、「kintone（キントーン）」において AI をチームの一員として業務に組み込む新機能「プロセス AI エージェント」を提供開始いたします。あわせて、企業内の様々なシステムを安全につなぎ、企業全体での AI 活用を支えるガバナンス基盤となる新製品「Orito（オリト）」の構想について発表いたします。
サイボウズは、「人が生産的かつ幸福に働くための手段として AI を活用する」という考えのもと、人と AI が共に働く次世代のチームワーク基盤を提供してまいります。

■　「人と AI が共に働く」チームワークへ ―サイボウズが描く AI 時代の基本戦略

サイボウズは「チームワークあふれる社会をつくる」を企業理念に掲げ、1997 年の創業以来、IT 産業の転換期とともに成長を続けてきました。Web ブラウザ対応により情報共有が民主化した Web 時代を皮切りに、「サイボウズ Office」「Garoon」「メールワイズ」などを通じて、組織の情報共有を支援。その後、クラウド時代には「kintone」を軸にエコシステムを拡大し、企業・組織の DX を幅広く後押ししてきました。
そして、AI 時代を迎えた今、サイボウズは「チームワークあふれる社会」の担い手に AI を加え、その概念を新たな次元へと広げます。目的を定め、問いを立て、責任を担うのは、人。解決策は AI の提案と人の決定によって生まれ、構築・データ処理・自律実行は AI が受け持つ。この役割分担こそが、サイボウズの考える新しいチームワークのかたちです。
組織の AI トランスフォーメーションを実現するには、組織内の情報を横断的に集約する「ナレッジ」、AI をチームの一員として業務に組み込む「プロセス」、そして公明正大と自律・対話を重んじる「カルチャー」の 3 要素が不可欠です。
サイボウズはこの 3 要素を一体的に支えるチームワーク基盤を提供するとともに、AI と共に働くうえで欠かせない高いセキュリティとガバナンスのインフラも整備します。こうしたビジョンのもと、新しい時代に向けた具体的な機能強化と新製品の提供に向けて、鋭意取り組んでいます。



人と AI が共に働く次世代のチームワークイメージ

■　kintone AI 新機能「プロセス AI エージェント」―“AI による支援”から“AI と働く”へ

kintone AI は、組織として AI を活用できるよう、だれもが現場主体で人と AI が共に働く業務の仕組みをつくり、継続的に進化させることを目指しています。「プロセス AI エージェント」は、「kintone」のプロセス管理の中で AI が業務を担う機能です。AI がチームメンバーとして業務に組み込まれることで、チーム全員が AI の恩恵を受け、業務効率化やナレッジ活用につながります。

これまで人が担ってきた業務の中で、AI が得意とする業務を AI に任せることができるようになります。例えば、週報や報告書の作成では、人が登録する日々の活動記録からチームの活動レポートを作成し、その中からフォローが必要な活動を抽出するという作業を AI が実行します。その AI の提示をもとに人が判断し次の行動に移します。このように人と AI で、強みを活かした役割分担をします。



「プロセス AI エージェント」のイメージ

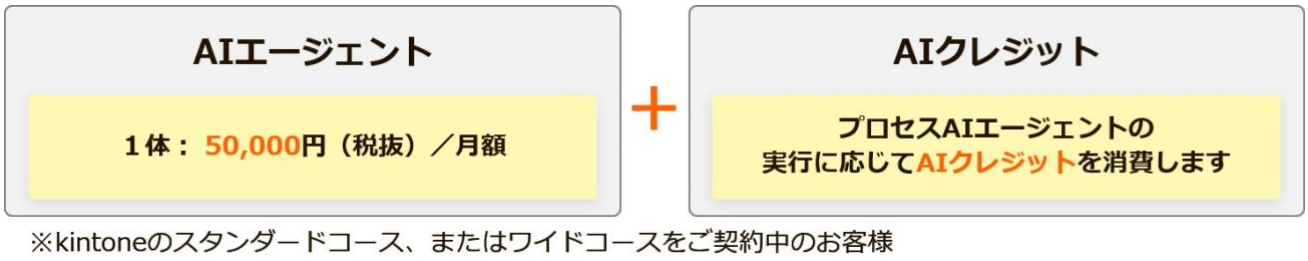
「プロセス AI エージェント」についての詳しい情報は公式サイトにてご確認ください。
https://kintone.cybozu.co.jp/feature/kintone-ai/processaiagent/

- **販売予定時期について**

2027 年 2 月予定

- **価格について**

「プロセス AI エージェント」の価格は、「AI エージェント」と「AI クレジット」の 2 つで構成されます。「AI エージェント」は、体数に応じた月額もしくは年額の課金で、「AI クレジット」は実行に応じて消費します。



「プロセス AI エージェント」の価格

詳しくは公式サイトをご確認ください。

https://kintone.cybozu.co.jp/price/

■　新製品「Orito」―AI を企業全体で活用するためのガバナンス基盤

「Orito」は、AI の全社的な活用を前提とした際にぶつかる、“AI が仕事に必要な情報に届かない”、“AI にどこまで情報を見せて任せてよいかわからない”という 2 つの壁を乗り越え、人と AI が安心して共に働くことを目指す製品です。社内ネットワークにあるシステムと各種クラウドサービスを安全につなぎ、既存のシステムごとに持つ情報管理のアクセス権を崩すことなく、AI を業務に組み込むことを可能にします。そのうえで、従業員の専属 AI アシスタントと、業務範囲を限定して自律的に働く AI コワーカーの 2 種類の AI エージェントを利用できます。



「Orito」のシステム概要図

詳しくは公式サイトをご確認ください。
https://www.orito.ai/

「Orito」は 2026 年 12 月 1 日、サイボウズ製品をご契約中の従業員数 1,000 名以上の企業を対象に、事前募集した一部の企業限定でリリースを予定しています。限定リリースに関しては、下記サイトのお問い合わせフォームよりご連絡ください。
https://www.orito.ai/#contact

■　今後の展望

サイボウズは、AI 時代の基本戦略のもとで積極的な投資を行い、自社製品の進化をさらに加速させるとともに、パートナー企業との連携を推進し、エコシステム全体で AI トランスフォーメーションを牽引してまいります。サイボウズが目指すのは、AI によって人が置き去りにされる世界ではなく、人と AI が共に働き、人がより生産的かつ幸福に働ける「チームワークあふれる社会」です。kintone の新機能「プロセス AI エージェント」および新製品「Orito」の提供をはじめ、時代に求められる製品を継続的に提供することで、あらゆる組織のチームワークを力強く支えてまいります。

報道関係者様からのお問い合わせ先
サイボウズ株式会社　広報
〒103-6027　東京都中央区日本橋　2-7-1　東京日本橋タワー　27 階
TEL: 03-6757-1250 / MAIL: pr@cybozu.co.jp

※商標・著作権表示に関する注記については、こちらをご参照ください。
https://cybozu.co.jp/logotypes/trademark/